

令和 3 年度 上戸祭小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

基本目標：心身ともに健康で日本及び国際社会に貢献できる人間の基礎的な資質を養う。

＝ 心身ともに健康でたくましく、創造力と実践力に満ちた、心豊かな児童の育成 ＝
—自分や他人を大切に子ども・進んで学ぶ子ども・たくましく生きる子ども—

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

＝ 合言葉：「学ぼう 遊ぼう 友だちと」 ＝

人間尊重の精神を基盤としたあらゆる教育活動を通して、学校教育目標に掲げた児童の育成を図る。
そして、児童が、社会の中で自分の能力を発揮し自己実現できるようになるために、「できなかったことができる、分らなかったことが分かる」ように、児童と教師と学校の power up を図る。

《目指す学校像》 楽しく学べる学校 安全で潤いのある学校 地域とともに歩む学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 児童の power up のために、個に応じた指導を充実させ、保護者と連携して家庭学習の習慣化を図るとともに、社会性の育成を推進する。
- (2) 児童の power up を支える教師の power up のために、校内研修を計画的・継続的に実施し、授業力の向上を図る。
- (3) 教師の power up を支える学校の power up のために、地域や保護者への情報提供と地域の教育力を生かした取組の推進と働き方改革の推進を図る。

○[星が丘地域学校園教育ビジョン] 未来を見つめ、学び続ける力の育成
～星が丘地域学校園の学校文化を築くことを通して～

4 教育課程編成の方針

- ・ 本校の教育目標の実現のために、各教科等及び学年間の連携を図り、系統的・発展的な指導を行うとともに、地域や学校の実態、児童の発達段階や特性を考慮し、特色ある教育課程を編成する。
- ・ 学校評価の反省を生かし、本年度の経営方針を踏まえ、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成を目指した教育活動の展開を図る。
- ・ 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて工夫改善を図る。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- (1) 学校運営
- ・ 未来を見つめ、夢と希望に満ちた学校づくり
- (2) 学習指導
- ・ 自分の考えや思いを豊かに表現しながら学びを広げるために、互いの意見を伝えあい、学び合うことのできる児童の育成。
 - 未来を見つめ学び続ける児童の育成
 - ・ 「かみと学習マニフェスト」による学力向上（めあての提示、学び合う活動の確保、振り返りの時間の設定 等）
- (3) 児童指導
- あいさつと言葉遣いを重点とした、望ましい生活習慣と正しい判断力の育成
 - 互いのよさを認め合い、自己有用感を高め、他人を思いやることのできる児童の育成
- (4) 健康（体力・保健・食・安全）
- 自らのめあてを明確にし、進んで体力向上に取り組む児童の育成
 - ・ 児童の健康な生活習慣の定着
- (5) 教職員の働き方改革
- ・ 教科担任制の推進と校内業務の効率化の推進
 - ・ リフレッシュウィークの奨励

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組に関わる内容は文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す児童の姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上	①自分の考えや思いを図や言葉で表現したり、話し合ったりするなど、豊かに表現して学び合う児童を育成する。 ②発達の段階に応じて、「発表の仕方」や「話の聞き方」のルールを示し、互いの意見を伝え合い、児童同士で考えを深めていけるような場の設定を行い生活の場と教室をつなぐ活用型の課題を提示して意欲を高め、学びを深める授業を行う。		
	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 における肯定的回答 ⇒児童・教職員 85%以上	①道徳科の授業の実施し、生命や人権を尊重する心や、人を思いやる心などを涵養する。 ②人権教育年間指導計画に基づき、全教育活動を通して人権教育を実施する。 ③相手の立場を考えて思いやる心を育めるよう児童会活動や縦割り班活動を計画的に実施する。		
	A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、きまりやマナーを守って生活している。」 における肯定的回答 ⇒教職員・保護者 85%以上	①「かみとよい子のやくそく」に基づく全校共通理解のもとで、基本的生活習慣と正しい判断力の育成に努める。 ②きまりやマナーを守って行動していることを児童が相互に認めあう場や教師が称賛する機会を数多く設け、意識付けしながら実践意欲を高める。 ③生活目標に決まりやマナーに関する目標を掲げ、児童の意識化を図る。		
	A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 における肯定的回答 ⇒児童・地域住民 85%以上	①年間を通して地域や地域学校園と連携して児童が中心となって工夫したあいさつ運動を展開するとともに、登下校や上戸タイム、朝の会、帰りの会など、さまざまな場で児童の規範意識を高める指導を行う。 ②自ら進んで挨拶することや、時と場に応じた言葉遣いについて地域や家庭での指導を地域住民や保護者に働きかける。 ③日々の生活の中で教職員も進んであいさつを行い、児童のあいさつに対する意識を高める。		

目 指 す 児 童 の 姿	A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、夢や目標に向かって、あきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒児童・教職員 85%以上	①児童の自己有用感を高められるよう、児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、担任が認め励ます指導に努める。 ②各教科の授業や校内での各種検定等において、児童が目標をもって取り組む機会を設けるとともに、目標の達成に向けて努力している児童を称賛する。		
	A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 における肯定的回答 ⇒教職員・保護者 90%以上	①児童が自分の健康に気を付けて生活できるよう、学級活動、体育、学校行事と関連を図った保健指導や日常生活指導を行う。 ②学校給食と各教科等との関連を図った指導のもと、栄養のバランスのとれた食事や望ましい食習慣の形成を図るとともに、食前食後の手洗いを徹底し、感染症予防に努める。 ③交通安全指導や避難訓練を定期的に行い、自分の命は自分で守ろうとする意識が高められるよう、指導を工夫する。		
	A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、夢や目標に向かって、あきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒児童・保護者 80%以上	①宮・未来キャリア教育年間指導計画に基づき、児童が自らのよさを自覚して夢や目標の実現に向けて取り組もうとする意欲や、望ましい勤労観や職業観を、全教育活動を通して、意図的・計画的に指導する。 ②家庭や地域社会との連携による体験的活動を実施し、児童が将来の夢や希望を描いたり、実現に向けて努力したりする態度を育成する。		
	A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。」 における肯定的回答 ⇒児童 80%以上	①外国語活動を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ②外国語活動に関する校内研修やALTと事前に綿密な打合せを重ねるなど、指導力の向上を図る。		

目 指 す 児 童 の 姿	A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、宇都宮の良さを知っている。」 における肯定的回答 ⇒児童 80%以上	①各教科等の授業や家庭学習、食育や学校図書館等において、学習内容に関連させながら児童が身近な地域や宇都宮市の良さに気付く指導に努める。 ②教師自身が宇都宮市の歴史、文化、伝統産業、特産物等について理解を深められるよう努める。	
	A 10 児童は、ＩＣＴ機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、ＩＣＴ機器や図書等を学習に活用している。」 における肯定的回答 ⇒児童・教職員 80%以上	①児童がコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段に親しみ、適切に活用する能力を育成できるよう、授業において積極的にＩＣＴ機器を活用する。 ②各学年のその時期の授業内容との関連に配慮した教育図書の整備充実等、学校図書館の環境整備に努める。 ③図書だよりの発行を通して児童の読書意欲を喚起する。	
	A 11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、誰に対しても思いやりの心をもっている。」 における肯定的回答 ⇒児童・教職員 85%以上	①道徳科の授業において、生命や人権を尊重する心や、他人を思いやる心などを体験活動との関連を図りながら涵養する。 ②お世話になっている方々に手紙を書くなどの活動を通して、交通指導員さんや安全ボランティア、地域の方々への感謝や思いやりの心を育む。	
	A 12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について、関心をもっている。」 における肯定的回答 ⇒児童・教職員 85%以上	①総合的な学習の時間における環境教育や各教育等を通して、環境問題への関心を高め、環境と調和しながら生きる意識や態度を育成する。 ②人権教育年間指導計画に基づき、全教育活動を通して人権教育を計画的に実施する。【A2②再掲】 ③東日本大震災をはじめとした過去の災害の具体事例から学ぶ機会を設け、防災教育を充実する。	
	B 1 児童は、遊びや運動を楽しんでいる。 における肯定的回答 ⇒児童・保護者 85%以上	①体育の時間や学級活動で行う運動や遊びを生活の中につなげる。 ②一輪車、竹馬といった遊具を整備するなど、休み時間に進んで運動に取り組めるような機会を設定し、屋外遊びを奨励する。	

目 指 す 児 童 の 姿	B2 児童は、自分の好きな部分に自信をもって生活している。 【数値指標】 学校独自アンケート 「児童は、自分のよさに自信をもって生活している。」 における肯定的回答 ⇒児童・保護者 85%以上	①児童についての情報交換や教育相談、いじめアンケート（年間4回実施）、Q-U検査の結果の分析活用、携帯電話の所持調査などにより、児童一人一人に目を向けた指導に努める。 ②一人一人の児童が居がいをもって学校生活を送ることができるよう、教員が積極的に児童のよさを見つけ、ほめたり言葉かけを行ったりすることに努めるとともに、悩みをもつ児童が教師に気軽に話ができる体制づくりを行う。	
目 指 す	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 における肯定的回答 ⇒ 教職員 85%以上	①特別支援教育コーディネーターや児童指導主任を中心に、全校で特別な支援が必要な児童に関する共通理解を図り、一人一人のニーズを踏まえた支援を組織的に行う。 ②必要に応じて個別の支援計画を作成し、それに基づく合理的な配慮を伴う指導に努める。	
学 校 の 姿	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 における肯定的回答 ⇒児童 90%・保護者 85%以上	①学級活動、道徳科の授業を通して、人を思いやることや人権を尊重することの大切さを指導するとともに、日常生活の中でいじめが許されない行為であることを繰り返し指導する。 ②児童会主体の「いじめゼロ運動」の推進に努める。 ③定期的なアンケートや教育相談等から、児童を共感的に理解した上で、組織的な対応によりいじめの早期発見・早期解消を図る。 ④学年だよりや学校ホームページに道徳や学級活動で学習したことや、児童の様子などを掲載し情報を発信していく。	

目 指 す 学 校 の 姿	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合う機会をつくってくれている。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上	①児童の自己有用感を高められるよう、児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、担任が認め励ます指導に努める。【A5①再掲】 ②教育相談、アンケート、Q-U 調査、SC との教育相談などの結果を活用し、不適応傾向のある児童の早期発見、不登校の兆候や傾向の児童に関わる校内全体の情報共有を図る。 ③職員会議で定期的に児童の情報交換を行う。	
	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 90%以上	①外国人児童について全校で共通理解を図り、必要な支援やニーズを踏まえた支援を組織的に行う。 ②児童が、互いの国籍や文化の違い等認め合い尊重しながら生活できるよう、日常的な指導に努める。	
	A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、活気があり、明るく生き生きとした雰囲気である。」 における肯定的回答 ⇒児童・保護者 90%以上	①日常的に児童の見取りを細かく行い児童一人一人の話をよく聞き、声を掛け、よいところを認め、伸ばす指導に努める。 ②職員間で学習情報システムを利用した情報共有を含め、より報交換を密にし、職員全体で児童を称賛できる場を設定する。 ③「かみとオリンピック」に代わる、学年等を単位とした小イベントを企画するなど、互いの学級を認め合う機会を設け、学校生活の活性化につなげる。	
	A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上	①漢字、計算、音読などを発達の段階に応じて取り入れ、基礎・基本の定着を図った上で、分かる授業のための教材研究・授業研究に努め、自分の思いや考えを豊かに表現させながら、学び合う授業を展開する。 ②教師は授業の中でねらいの提示、友達の考えと自分の考えを比較し、さらに学びを深める活動、振り返りの時間を設定し、学力向上を図る。	

目 指 す 学 校 の 姿	A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校に関わる教職員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒教職員 90%以上	①「チーム上戸」の合言葉のもと、学校の諸課題への対応や、学校行事の企画、運営などに、教職員が相互に助け合いながら協力して取り組むよう努める。 ②学校目標及び本年度の努力点についての共通理解を図り、「チーム上戸」として協働していくことで、同僚性を高められるようにする。	
	A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上	①教職員の負担軽減に向け学校の組織運営の改善や、各種行事等の精選を行う。 ②学習情報システムをはじめとした各種システムを効果的に活用し、業務を効率的に進める。 ③年間行事計画に「リフレッシュウィーク」を位置付けることで、勤務時間を意識した業務の効率的な実施や計画的な処理を進められるようにする。	
	A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 における肯定的回答 ⇒教職員・保護者 85%以上	①星が丘地域学校園ビジョンに基づき、自己有用感を高める取組を重点として小中一貫教育・地域学校園を推進する。 ②中学校との連携を保ち、あいさつ運動や乗り入れ授業を、目的を明確にして効果的に実施する。 ③地域学校園事務室や、学校一人配置職員の分科会を通して、学校園内の相互支援体制を充実する。	
	A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 における肯定的回答 ⇒保護者・地域住民 85%以上	①地域協議会や地域コーディネーターと連携を図り、感染症対策を十分に行いながら、地域の人材や施設等の教育力を生かした学習を可能な範囲で実施していく。 ②家庭や地域社会との連携による教育活動を実施することで、よりよい生活習慣の育成や効果的な学習活動の展開を目指す。	

学 校 の 姿 指 す	A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 における肯定的回答 ⇒保護者・地域住民 85%以上	①地域協議会や地域コーディネーターと連携を図り、地域の人材や施設等の教育力を生かした学習を充実させ豊かな体験活動や居場所づくりを展開する。＜再掲A22①＞ ②「お礼の手紙」などを通して、ご協力いただいた方々への感謝の気持ちを表すことで、地域を愛する気持ちを育てる。 ③宮っ子ステーション「かみタマ」「上戸クラブ」との連携を図り、児童の放課後の多様な体験活動、居場所づくりに努める。	
	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%・保護者 80% 地域住民 80%以上	①毎月、各教室、特別教室、廊下、体育館等を、チェック項目に基づく安全点検を実施し、危険箇所については迅速な改善や修繕に努める。 ②危機管理マニュアルを整備するとともに、避難訓練や引き渡し訓練等を通して、火事、地震、竜巻、不審者侵入等の不測の事態への備えを万全にする。 ③コロナウィルス感染症予防対策、熱中症対策予防対策、インフルエンザ蔓延予防対策など、年間を通して保健指導管理に努める。	
	A25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、I C T 機器や図書等を学習に活用している。」 における肯定的回答 ⇒児童・教職員 80%以上	①児童がコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段に親しみ、適切に活用する能力を育成できるよう、授業において積極的に I C T 機器を活用する。 【A10①再掲】 ②各学年のその時期の授業内容との関連に配慮した教育図書の整備充実等、学校図書館の環境整備に努める。 【A10②再掲】 ③図書だよりの発行を通して児童の読書意欲を喚起する。 【A10③再掲】	

本校の特色・課題等	B 3 教職員は、児童のよさや努力を認め励ます指導をおこなっている。 【数値指標】 学校独自アンケート 「先生は、自分のよいところを見つけて、ほめてくれる。」 における肯定的回答 ⇒児童 90%・保護者 85%以上	①児童の自己有用感を高められるよう児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、担任も認め励ます機会を設け、指導に努める。 ②機会を積極的に捉えて、児童のよさや児童が努力したことを各種便りやホームページ、スタンダードダイアリー等で保護者に伝えるように努める。		
	B 4 学校は保護者と連携して家庭学習を進めている。 【数値指標】 学校独自アンケート 「児童は、毎日宿題などの家庭学習に取り組んでいる」 における肯定的回答 ⇒児童・教職員・保護者 90%以上	①「家庭学習の手引き」に基づき、家庭学習の捉え方について保護者及び児童に周知徹底を図り、各自が計画を立てて家庭学習に取り組めるように支援するとともに、保護者の理解・協力を得て、家庭学習の習慣化を図る。 ②児童の提出した「家庭学習の記録」やノートによく目を通し、一人一人の学習状況や内容に応じて個別指導を行い、認め励ますことで意欲づけを図る。		
	B 5 学校は家庭と協力して読書活動を推進している。 【数値指標】 学校独自アンケート 「学校は家庭と連携して読書活動を行っている」 における肯定的回答 ⇒教職員・保護者 85%以上	①地域学校園推薦図書（スター文庫）の設定・推奨、今月のお勧め図書の展示、読書週間での様々な企画等を通して、読書活動を推進する。 ②毎月第3日曜日を家庭読書の日とし、家庭の理解と協力を呼びかけながら、家庭読書の充実を図る。		

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

--

7 学校関係者評価

--

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

--